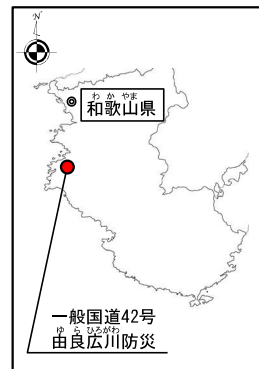


【新規】一般国道42号 由良広川防災

事業費:0.5億円

○ 異常気象時通行規制区間・予防的通行規制区間や線形不良箇所・急勾配箇所を回避した信頼性の高い道路ネットワークの確保を目的に、国道42号由良広川防災事業を令和8年度より推進します。

《位置図》



《諸元等》

事業区間: 和歌山県日高郡由良町畑～有田郡広川町井関
 延長: 5.0km
 全体事業費: 410億円
 R 8 当初: 0.5億円(事業費)

《整備効果》

◆効果 災害に強い道路の確保

- ・大雨時では、当該区間と湯浅御坊道路が同時通行止めとなっており、平成29年1月23日の降雪では、車両スタックが発生した。
- ・国道42号(由良広川防災)の整備により、災害に強い道路が確保される。

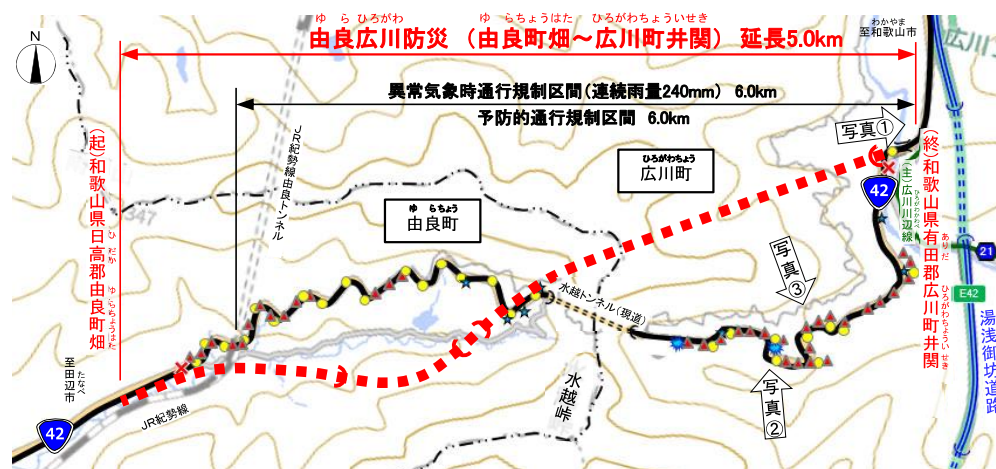


写真① 大雨時の通行規制状況(R1.8.16)



写真② 降雪時の車両スタック発生状況(H29.1.23)

《平面図》



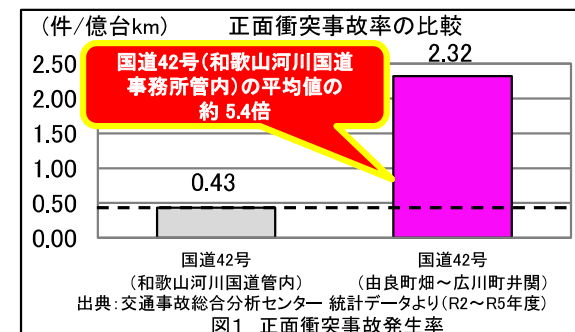
凡例	
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	通行止め箇所(遮断機)
	正面衝突事故
	平面線形の厳しい箇所(R<150m)
	縦断線形の厳しい箇所(>5%)
	積雪によるスタック発生箇所

◆効果 走行環境改善による安全な交通環境を確保

- ・対象区間では、線形不良箇所が全体にわたり存在し、縦断勾配が5%以上(最大値9.9%)の区間は約5割(約3km)以上と長く、その影響で正面衝突による交通事故発生率が他の区間と比較して高い。(図1)
- ・国道42号(由良広川防災)の整備により、走行環境改善による安全な交通環境が確保される。



写真③ 平面線形不良箇所



【新規】一般国道42号 熊野大橋更新

○ 地域の水防機能向上、自転車歩行者空間整備による交通安全の確保を目的に、国道42号熊野大橋更新事業を令和8年度より推進します。

《位置図》



《諸元等》

事業区間：三重県南牟婁郡紀宝町成川
～和歌山県新宮市大橋通

延長：0.5km
全体事業費：120億円
R8当初：0.5億円（事業費）

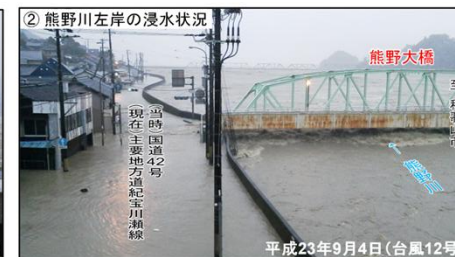
《平面図》



《整備効果》

◆地域の水防機能向上

- 熊野川を渡河する熊野大橋（S11年開通）は、河川管理施設等構造令の基準を満足せず、また、平成23年9月の台風12号の際には、熊野川の増水により熊野大橋で越水し、内水被害が生じ、さらに、耐震補強も未実施であるなど、災害リスクが存在する。
- 熊野大橋の撤去により地域の水防機能向上が期待される。



◆交通安全の確保

- 新熊野大橋には歩道が設置されているが、幅員が狭く、歩行者自転車安全に通行出来ないため、下流側へ自転車・歩行者道を整備することで安全な交通を確保。

